

子宮頸がん予防ワクチンと 小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンの 接種費用を助成

市では、子宮頸がんを予防するため、子どもたちへのワクチン接種費用の助成を始めました。また細菌性髄膜炎などの原因となるウイルス感染を防ぐため、小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンの接種費用の助成も行います。

対象者には、昨年末に通知しました。生後2か月を迎える子どもには、順次通知します。

〔助成の内容〕

①子宮頸がん予防ワクチン

対象／中学校1年生～3年生の女子（平成23年度に限り、高校1年生相当年も対象）

接種回数／3回

助成額／1回当たり15,000円（上限）

0円（上限）

②小児用肺炎球菌予防ワクチン

対象／生後2か月以上5歳未満
接種回数／1～4回（開始年齢により接種回数が異なります）

助成額／1回当たり10,000円（上限）

0円（上限）

③ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン

対象／生後2か月以上5歳未満
接種回数／1～4回（開始年齢により接種回数が異なります）

助成額／1回当たり7,500円（上限）

0円（上限）

〔助成対象期間〕

平成22年11月26日（金）（国の補正予算成立日）～平成24年3月31日（土）

〔助成方法〕

■指定医療機関で受ける場合

事前に各自で指定医療機関（通知またはホームページに掲載）を予約し、接種してください。医療機関の窓口にて、通知した助成券を提示すると、助成後の額で精算できます。

■指定医療機関で接種済みの場合（償還払い）

接種後に、旭市保健センター



窓口で、助成の申請をしてください。平成22年11月26日までの分のぼり、償還払いで助成をします。

※指定医療機関以外での接種は、対象になりません。

申請期限／平成24年3月30日（金）

必要書類／①保険証など身分が確認できる書類②母子健康手帳

③領収書（医療明細、領収印のあるもの）③印鑑④預金通帳（原本）⑤委任状（保護者以外の申請者）

条件／接種時に旭市に住所があること

の申請者

〈問い合わせ先〉

健康管理課予防班

☎63-8766

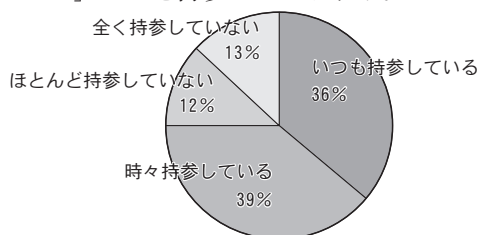
マイバッグを 使いましょう

市では、ごみの減量化対策の一環としてレジ袋の削減を図るため、買い物の際のマイバッグ（エコバッグ）の持参を推進しています。昨年「ふるさとまつり・ひかた」の会場で、マイバッグに関するアンケートを実施したところ、次のような回答が得られました。

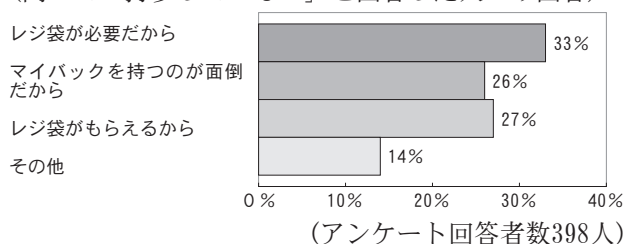
「スーパーなどに行くとき、マイバッグやマイかごを持参していますか」という問いに対しては「いつも持参している」「時々持参している」と回答した人が、合わせて75%もあり、ごみの減量、環境に対する関心が高いことが分かりました。またマイバッグを持たない人に、その理由を聞いてみたところ「レジ袋が必要だから」と回答した人が33%あり、2次的に利用している人が多いことも分かりました。今後もこれらのアンケートを継続的に実施し、ごみの減量化など環境行政に役立てていきます。

そのほかのアンケートの結果は、市ホームページから見るができます。ごみの減量化のため、皆さんも買い物の際はマイバッグを持参しましょう。

問1：スーパーに行くとき「マイバック」や「マイかご」などを持参していますか。



問2：マイバッグを持参しないのはなぜですか。（問1で「持参していない」と回答した人のみ回答）



〈問い合わせ先〉

環境課環境政策班 ☎62-5328